

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公開番号】特開2003-149694(P2003-149694A)

【公開日】平成15年5月21日(2003.5.21)

【出願番号】特願2001-352540(P2001-352540)

【国際特許分類第7版】

G 02 F 1/35

G 01 N 13/10

G 01 N 13/14

G 02 B 21/06

G 02 F 2/02

G 11 B 7/135

【F I】

G 02 F 1/35

G 01 N 13/10 G

G 01 N 13/14 A

G 02 B 21/06

G 02 F 2/02

G 11 B 7/135 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月7日(2004.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、

近接場光を発生させるための導電性の散乱体と、

前記光源からの光の波長とは異なる波長の光を発生させる発光体を備え、

前記発光体が散乱体により近接場光が発生する領域内または領域に接して設けられことを特徴とする近接場光発生器。

【請求項2】

前記発光体の外周の1点と他点が最も遠くなる線分の長さが散乱体に入射する光の波長以下であることを特徴とする請求項1記載の近接場光発生器。

【請求項3】

前記発光体が非線形光学材料であることを特徴とする請求項1記載の近接場光発生器。

【請求項4】

前記散乱体の形状が、球または半球または回転楕円体または半回転楕円体または平面状の円または半円または平面状の楕円または半楕円であることを特徴とする請求項1から3何れかに記載の近接場光発生器。

【請求項5】

前記導電性の散乱体に入射する光の中心位置が実質的に散乱体の中心位置に一致すること特徴とする請求項1から4何れかに記載の近接場光発生器。